

PARASOPHIA: 京都国際現代芸術祭2015
オープンリサーチプログラム開催のお知らせ

オープンリサーチプログラム[連続レクチャー]

眞島竜男「全体タイトルは思案中」

第2回「その公共性は誰のものなのか?: 美術館、国際展、
現代美術、アートについて(の2時間のレクチャー)」

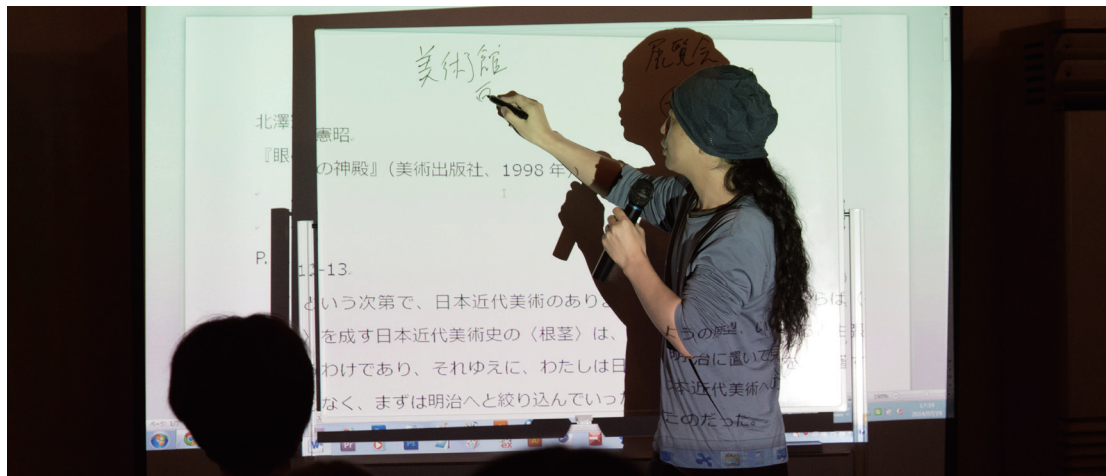


写真: 小野なつ季 提供: PARASOPHIA事務局

開催概要

- タイトル オープンリサーチプログラム[連続レクチャー]
眞島竜男「全体タイトルは思案中」
第2回「その公共性は誰のものなのか?: 美術館、国際展、現代美術、アートについて
(の2時間のレクチャー)」
- 日時 2014年9月21日(日) 17:00-19:00 (16:30開場)
- 会場 flowing KARASUMA
〒604-8152 京都市中京区烏丸通蛸薬師下ル手洗水町645
※京都市営地下鉄烏丸線「四条」駅・阪急電鉄京都本線「烏丸」駅22番出口から烏丸通を北へ徒歩4分
- 入場料 無料(事前申込不要)
- 言語 日本語
- 定員 先着50名
- Ustream 配信 www.ustream.tv/channel/parasophia
- 主催 京都国際現代芸術祭組織委員会、一般社団法人京都経済同友会、京都府、京都市
- 協力 株式会社長谷ビル、TARO NASU
- お問合せ先 info@parasophia.jp

開催趣旨

オープンリサーチプログラム10[連続レクチャー]眞島竜男「全体タイトルは思案中」では、「PARASOPHIA: 京都国際現代芸術祭2015」参加作家として発表を予定している現代美術作家の眞島竜男氏をお招きして、2014年7月から2015年1月にかけて2ヶ月おき計4回の連続レクチャーを開催していきます。

第1回目は、「開いて閉じる、閉じて開く、開いて折りたたむ、折りたたんで開く: 日本の近現代美術について(の2時間のレクチャー)」という演題で、日本の近現代美術史についての深い検証と考察に裏付けられたとても刺激적인お話をしていただきました。

第2回目では、「その公共性は誰のものなのか?: 美術館、国際展、現代美術、アートについて(の2時間のレクチャー)」というタイトルでお話しいただく予定です。「折りたたんで開かれた」のはどのような場なのか? それはどのような場として見出されたのか? 制度はどのような場をつくっていったのか? 国際展にも触れながら、作品が展開される場の問題についてお話しいただきます。1回目に引き続き、ご期待ください。



提供: PARASOPHIA事務局

登壇者プロフィール

眞島竜男 Tatsuo Majima

1970年東京生まれ、神奈川／大分在住。ロンドン大学ゴールドスミスカレッジ美術科卒業。「PARASOPHIA: 京都国際現代芸術祭2015」に参加予定。ロンドンから帰国後発表した1930年代の日本洋画界を題材にした《日本近代美術／楽しき国土》(1995)では、里見勝蔵、児島善三郎、三岸好太郎、福沢一郎といった独立美術協会のメンバーが野外に集い、ワインやバーベキューを楽しみながら、実際にはありえない会話を繰り広げる光景を映像化した。その他にも《北京日記》(2010)、《鵠沼相撲・京都ボクシング》(2010初演)など、資料調査に基づき当時の状況を再設定し、それを再編／再演することを通じて、共同体を形成しようとした日本の近代を考察する作品を発表。2010年頃からはパフォーマンスやレクチャーが増え、それは眞島にとって一種の鍛錬の場にもなっている。《今日の踊り》(2012-13)では、2012年の衆議院選挙から約1年間、ひたすら毎日踊りを考案して2分間踊りYouTubeにアップロードし続けた。全4回にわたるオープンリサーチプログラム[連続レクチャー]眞島竜男「全体タイトルは思案中」で取り上げられる1. 日本近現代美術 2. 国際展 3. 眞島竜男(仮) 4. 京都(仮)といったテーマは、2015年のPARASOPHIAでの眞島の制作活動にも結びついていくことになる(予定)。

作品写真



眞島竜男《日本近代美術/楽しき国土》1995
ビデオ(再生時間33分)
映像からのスチル
© Tatsuo Majima



眞島竜男《北京日記》2010
紙、インク、タイプCプリント
TARO NASUでの展示風景 2010 (写真: 木奥敬三)
© Tatsuo Majima Courtesy of TARO NASU

PARASOPHIAについて

「PARASOPHIA: 京都国際現代芸術祭2015」は、京都国際現代芸術祭組織委員会、京都経済同友会、京都府、京都市が主催する国際展です。2015年3月7日から5月10日まで京都市美術館、京都府京都文化博物館ほか京都府、京都市の関連施設等で開催予定。

最新の情報は公式ウェブサイトをご覧ください。 www.parasophia.jp

名 称	PARASOPHIA: 京都国際現代芸術祭2015
会 期	2015年3月7日-5月10日
会 場	京都市美術館、京都府京都文化博物館ほか府・市関連施設など
アーティストック ディレクター	河本信治 (元・京都国立近代美術館学芸課長)
主 催	京都国際現代芸術祭組織委員会、一般社団法人京都経済同友会、京都府、京都市
協 力	京都工芸繊維大学、京都市立芸術大学、京都嵯峨芸術大学、京都精華大学、 京都造形芸術大学、成安造形大学
助 成	平成26年度 文化庁地域発・文化芸術創造発信イニシアチブ 公益財団法人アサヒグループ芸術文化財団、公益財団法人朝日新聞文化財団、 公益財団法人花王芸術・科学財団、一般財団法人ニッシャ印刷文化振興財団、 公益財団法人野村財団、公益財団法人ポーラ美術振興財団 ※公益財団法人京都地域創造基金助成事業に採択
後 援	国際交流基金
認 定	公益社団法人企業メセナ協議会

(2014.8.4 現在)

広報に関するお問合せ | 京都国際現代芸術祭組織委員会事務局 (PARASOPHIA事務局)

E-mail: press@parasophia.jp TEL: 075-257-1453 FAX: 075-257-1454 URL: www.parasophia.jp

〒604-8152 京都市中京区烏丸通蛸薬師下ル手洗水町645 flowing KARASUMA 2階

■ オープンリサーチプログラムとは

アーティストディレクターとキュレトリアルチームが、PARASOPHIA: 京都国際現代芸術祭2015に向けて行う調査研究のプロセスを広く一般に公開し共有するためのプログラムです。これまでのプログラムは、公式ウェブサイト内のレポート及び電子書籍『Parasophia Chronicle』において調査記録を公開しています。

- 01 **【レクチャー】リビット水田堯「猫と犬のように——映画とカタストロフ」**
日時：2013年6月21日 会場：京都府京都文化博物館 別館ホール
- 02 **【報告会】田中功起+蔵屋美香「抽象的に話すこと——ヴェネツィア・ビエンナーレに参加して」**
日時：2013年7月27日 会場：同志社大学今出川キャンパス 良心館
- 03 **【レクチャー/パフォーマンス】ドミニク・ゴンザレス=フォルステル「M.2062 (Scarlett)」**
日時：2013年9月6日 会場：京都府京都文化博物館 別館ホール
- 04 **【対談】ダイアローグ——蔡國強x浅田彰**
日時：2013年10月14日 会場：京都造形芸術大学 人間館1階 ギャラリー・オーブ
- 05 **【レクチャー】妹島和世**
日時：2013年10月25日 会場：flowing KARASUMA
- 06 **【レクチャー】円城塔**
日時：2014年2月16日 会場：元・立誠小学校 スタディールーム(1階 木工室)
- 07 **【レクチャー】クリス・デルコン「21世紀のための美術+建築——テート・モダン」**
日時：2014年4月4日 会場：京都国立近代美術館
- 08 **【レクチャー】スーザン・フィリップス「You Are Not Alone」**
日時：2014年4月20日 会場：京都芸術センター 西館1階 フリースペース
- 09 **【レクチャー】ピピロッティ・リスト**
日時：2014年4月29日 会場：京都国立近代美術館 1階ロビー
- 10 **【連続レクチャー】眞島竜男「全体タイトルは思案中」**
全4回を予定
 - 10-1 第1回「開いて閉じる、閉じて開く、開いて折りたたむ、折りたたんで開く：日本の近現代美術について(の2時間のレクチャー)」
日時：2014年7月19日 会場：flowing KARASUMA
 - 10-2 第2回「その公共性は誰のものなのか?：美術館、国際展、現代美術、アートについて(の2時間のレクチャー)」
日時：2014年9月21日 会場：flowing KARASUMA
 - 10-3 第3回「《ふんてんていてんかいそていてんしんぶんてんにってーん(仮)》、《北京日記》、《鵜沼相撲・京都ボクシング》、《日本近代美術／楽しみ国土》：眞島竜男の作品について(の2時間の〇〇)」(仮)
日時：2014年11月頃 ＊予定
 - 10-4 第4回「フィールドとコンポジション：京都という場所と『PARASOPHIA: 京都国際現代芸術祭2015』について(の2時間の〇〇)」(仮)
日時：2015年1月頃 ＊予定